



地域づくりの
基本的な考え方

本市のまちの将来像である「歴史・自然・文化が薫る 誇りと輝きに満ちたふるさと」を実現するには、各地域が個性を伸ばすとともに、それぞれ機能を分担するなど、各地域がその持てる力を最大限発揮しなければなりません。

また、地域を構成し、地域づくりを担う市民一人ひとりと行政が地域づくりの目標を共有し、一体となって取り組むことも必要です。

この地域別将来展望は、それぞれの地域の現状や課題を踏まえ、まちづくりの目標を地域ごとに設定することで、地域の個性をいかした将来像を示すものです。

地域区分

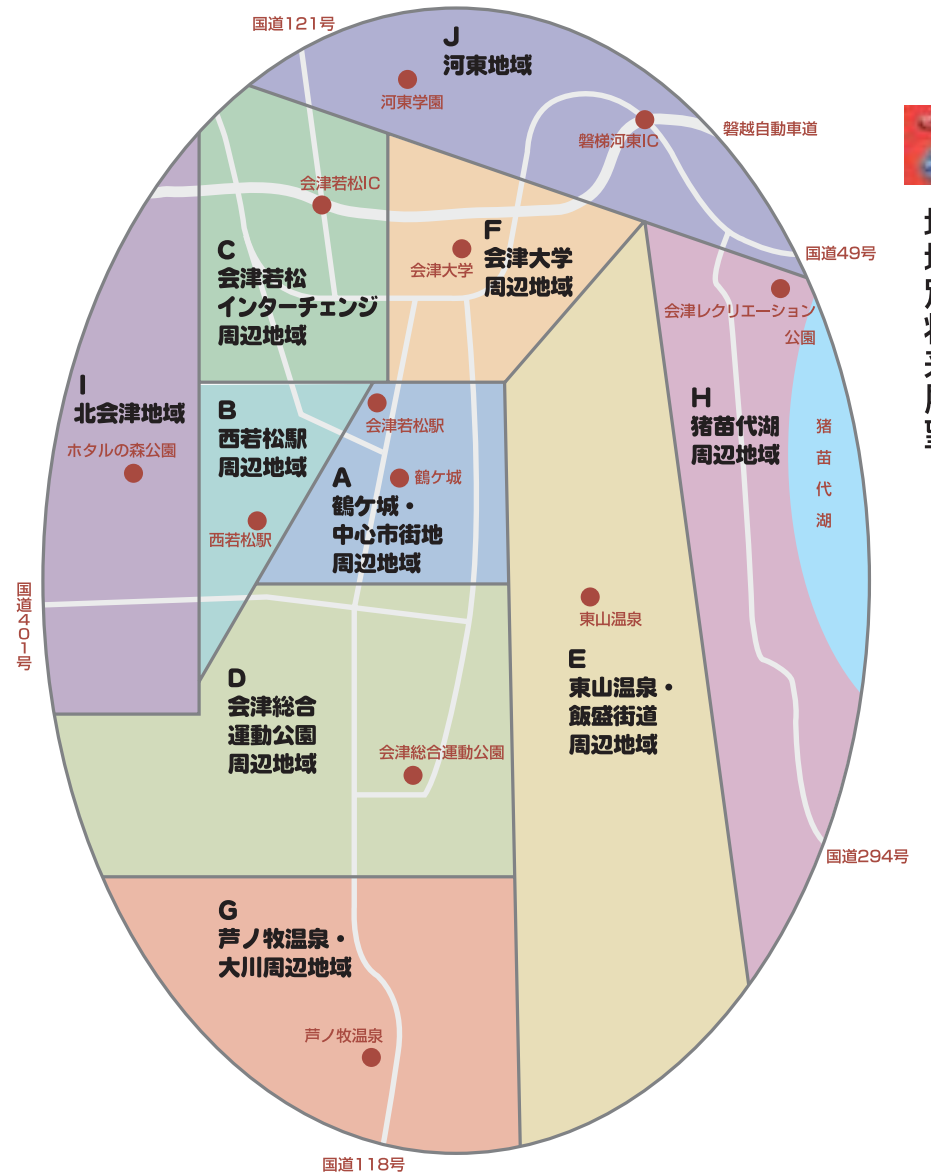
地域区分については、地区のコミュニティを基本としながらも、これまでの長い歴史のなかで培われてきた歴史や文化、現在から将来にわたって担うべき機能など、地域の特色に着目して区分します。

地域を区分する場合、主要な道路や河川、鉄道などを境界とする手法が一般的に使われますが、その場合、道路を一本隔てただけで、地域づくりの方針が全く異なるということが生じてしまいます。

そこで、この地域別将来展望においては、地域の境界を明確にせず、核となるような施設などを中心として広がるイメージで地域を設定します。ただし、北会津地域及び河東地域については、新市としての一体感が醸成されるまでの間は、旧町村を単位として区分します。

以上のことを踏まえ、市域を次の10の地域に区分し、地域の将来展望を明らかにします。

【地域区分】



※地域ごとに掲載した地図は、より具体的に地域の将来像をイメージしていただくために、今後整備予定の道路や施設等を表現したイメージ図です。